

## 2-3-2 高頻度利用地における現地調査

### (1) 目的

シカの高頻度利用地および移動経路において現場確認調査を実施し、シカの行動特性を把握する。

### (2) 調査方法

祖母傾地域（祖母山地区）、大矢国有林、大洞国有林の3地域において、シカのGPSテレメトリー調査で取得された測位データをもとに、ポイント集合地点（測位データが集中している箇所）があれば休息場あるいは餌場、また線状に移動していれば移動経路として利用していると推測する。これらの中から現地調査の箇所を抽出し、植生図や林班図を用いながら実際に現地調査を行ってシカの利用箇所を確認する。

現地では、森林の状況や下層植生、シカの痕跡、シカを誘引する餌資源や水場などの有無等を調べ、生息状況の把握ならびに管理捕獲に使用できる場所か等を確認し、調査票に記録するとともに写真撮影を行う。



写真 2-3-2-1 現地調査状況

### (3) 調査結果

#### a 祖母傾地域（祖母山地区）

GPS 首輪を装着した雌 2 個体を対象にして、現地調査地点の抽出を行った。抽出した全 12 地点を図 2-3-2-1、図 2-3-2-2 に示す。雌 26SOF02 の No. 8 は、測位ポイントの前後を直線で結び、移動経路になっている可能性が高い地点とした。

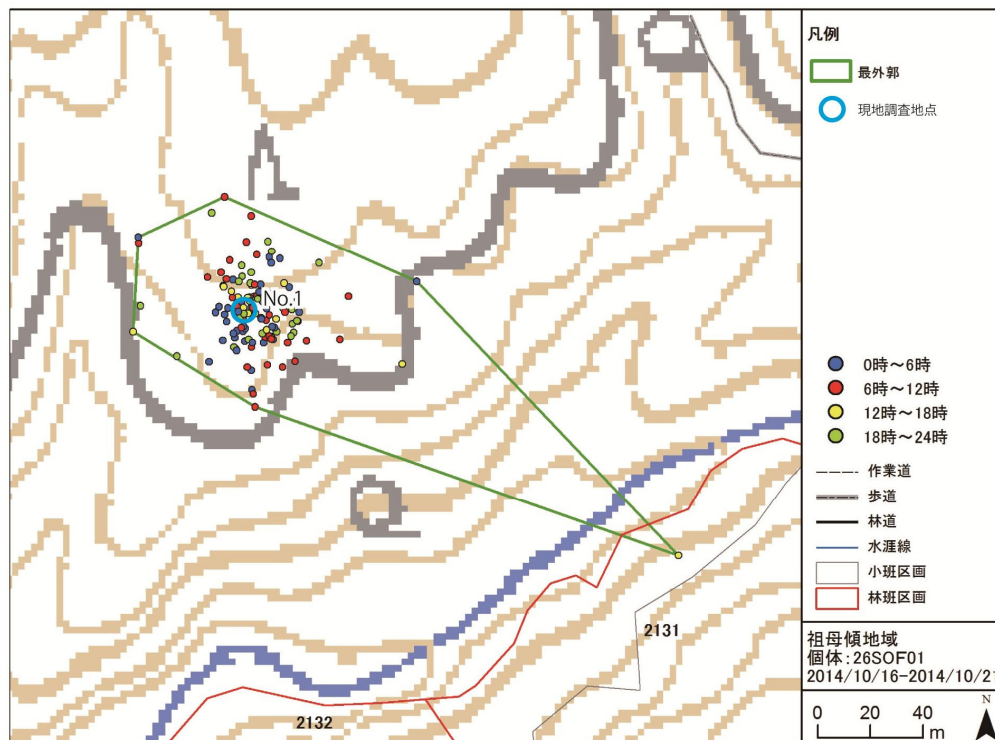


図 2-3-2-1 祖母傾地域（祖母山地区）の調査地点（雌 26SOF01 個体）

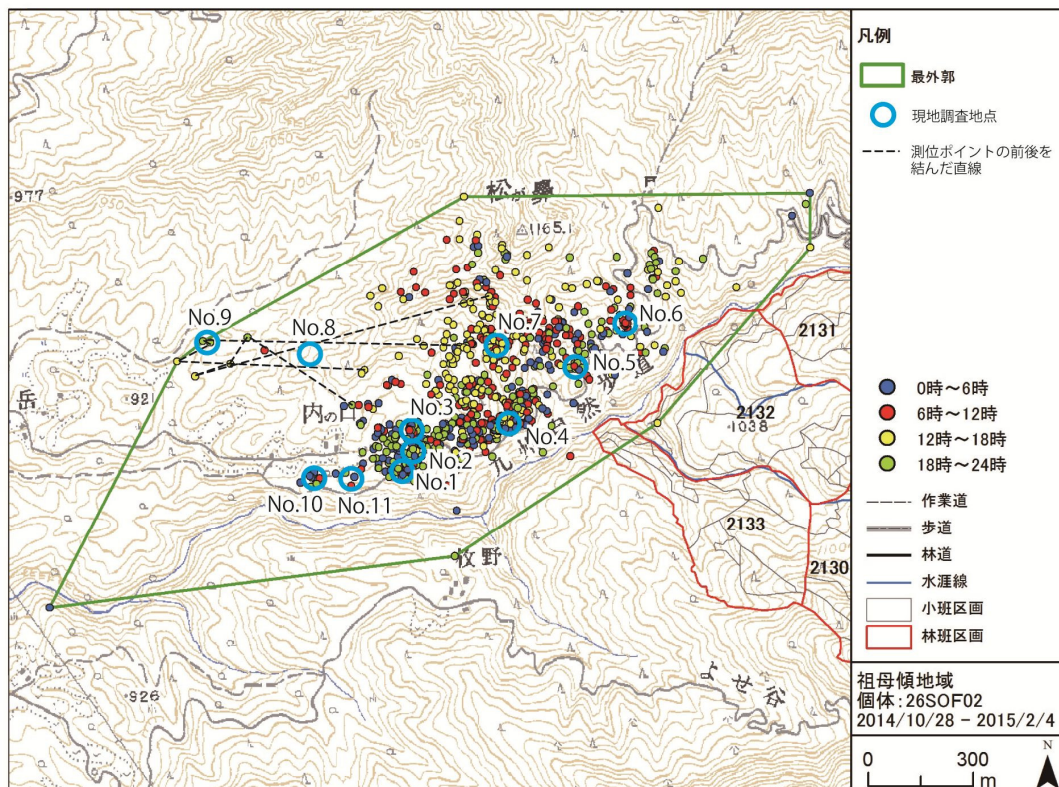


図 2-3-2-2 祖母傾地域（祖母山地区）の調査地点（雌 26SOF02 個体）

現地調査を行った結果、餌場として抽出した地点を表 2-3-2-1 に示す。

表 2-3-2-1 餌場として抽出した地点の現況（祖母傾地域（祖母山地区））

| No. | 対象個体名   | 調査地<br>番号 | 森林の状況              | 下層植生     | 傾斜<br>(度) | 標高<br>(m) | 抽出根拠    | フィールドサイン           |
|-----|---------|-----------|--------------------|----------|-----------|-----------|---------|--------------------|
| 1   | 26S0F01 | No. 1     | スギ林                | スズタケ     | 8         | 1054      | 餌場      | 食害                 |
| 2   | 26S0F02 | No. 1     | アカマツ林              | ススキ      | 0         | 973       | 餌場      | 糞粒、樹皮剥ぎ、食害         |
| 3   |         | No. 2     | スギ林                | なし       | 18        | 968       | 餌場      | 獣道、樹皮剥ぎ            |
| 4   |         | No. 3     | スギとアカマツの<br>混交林    | なし       | 17        | 968       | 餌場      | 糞粒、獣道、樹皮剥ぎ         |
| 5   |         | No. 4     | スギ・ヒノキ林            | なし       | 22        | 990       | 餌場      | 糞粒、樹皮剥ぎ、食害         |
| 6   |         | No. 5     | スギ林                | イネ科植物が散在 | 9         | 1013      | 餌場      | 糞粒、樹皮剥ぎ、食害         |
| 7   |         | No. 6     | スギ・ヒノキ林            | イネ科植物が散在 | 25        | 1032      | 餌場      | 獣道、食害              |
| 8   |         | No. 7     | 落葉広葉樹林             | ススキが散在   | 4         | 1044      | 餌場      | 糞粒、獣道、樹皮剥<br>ぎ、食害  |
| 9   |         | No. 9     | スギ・ヒノキ林、<br>落葉広葉樹林 | スズタケ     | 12        | 925       | 餌場      | 糞粒、樹皮剥ぎ、角研<br>ぎ、食害 |
| 10  |         | No. 10    | スギ・ヒノキ林            | スズタケが散在  | 12        | 931       | 餌場      | 糞粒、獣道、食害           |
| 11  |         | No. 11    | スギ・ヒノキ林            | スズタケが散在  | 17        | 940       | 餌場、移動経路 | 糞粒、樹皮剥ぎ、食害         |

餌場となっていたのはスギ・ヒノキ林、スギ林、スギとアカマツの混交林、アカマツ林、落葉広葉樹林であった。下層植生はスズタケ、ススキ、イネ科植物などが確認された。確認地点の傾斜は平均 13.1 度で、標高は平均 985m であった。フィールドサインは糞粒、獣道、樹皮剥ぎ、角研ぎ、食害が確認された。調査地点の環境を写真 2-3-2-2～5 に、食害及び樹皮剥ぎの状況を写真 2-3-2-6～9 に示す。



写真 2-3-2-2

雌 26S0F01 個体の現地調査地点  
No. 1 餌場の環境



写真 2-3-2-3

雌 26S0F02 個体の現地調査地点  
No. 1 餌場の環境



写真 2-3-2-4

雌 26S0F02 個体の現地調査地点  
No. 5 餌場の環境



写真 2-3-2-5

雌 26S0F02 個体の現地調査地点  
No. 9 餌場の環境

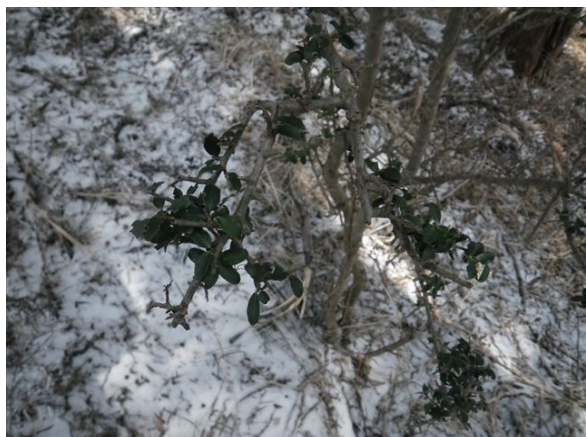


写真 2-3-2-6

雌 26S0F02 個体の現地調査地点  
No. 7 食害 (イヌツゲ)



写真 2-3-2-7

雌 26S0F02 個体の現地調査地点  
No. 9 食害 (スズタケ)



写真 2-3-2-8

雌 26S0F02 個体の現地調査地点  
No. 2 樹皮剥ぎ (スギ)



写真 2-3-2-9

雌 26S0F02 個体の現地調査地点  
No. 3 樹皮剥ぎ (スギ)

移動経路として抽出した地点を表 2-3-2-2 に示す。

表 2-3-2-2 移動経路として抽出した地点の現況（祖母傾地域（祖母山地区））

| No. | 対象個体名   | 調査地<br>番号 | 森林の状況   | 下層植生    | 傾斜<br>(度) | 標高<br>(m) | 抽出根拠    | フィールドサイン   |
|-----|---------|-----------|---------|---------|-----------|-----------|---------|------------|
| 1   | 26S0F02 | No. 8     | ヒノキ林    | なし      | 20        | 970       | 移動経路    | 足跡、獣道、樹皮剥ぎ |
| 2   |         | No. 11    | スギ・ヒノキ林 | スズタケが散在 | 17        | 940       | 餌場、移動経路 | 糞粒、樹皮剥ぎ、食害 |

移動経路と推定した箇所は、尾根部のヒノキ林とススキ原の境界であった。確認地点の傾斜は 20 度、標高は 970m であった。フィールドサインは足跡、獣道、樹皮剥ぎ、食害が確認された。確認されたフィールドサインを写真 2-3-2-10 に示す。



写真 2-3-2-10

雌 26S0F02 個体の現地踏査地点

No. 8 獣道

各個体の行動特性について以下に詳述する。

#### ○雌 26S0F01 個体

GPS 首輪装着後、早い段階で死亡したためデータ量が少ない。現地調査地点 No. 1 は大径木もある発達したスギ林となっていて、下層にはスズタケが繁茂しており、人の胸高程まで生育していた。

#### ○雌 26S0F02 個体

餌場は主にスギ・ヒノキ林で、アカマツ林、落葉広葉樹林も利用しており、傾斜の平均は 13.6 度であった。フィールドサインの状況からスズタケや落葉広葉樹の幼樹の枝先を餌としているようであった。また、移動経路として抽出した場所は、ヒノキ林の林縁部およびスギ・ヒノキ林内であった。

b 大矢国有林

GPS 首輪を装着した 2 個体を対象にして、現地調査地点の抽出を行った。抽出した全 22 地点を図 2-3-2-3、図 2-3-2-4 に示す。

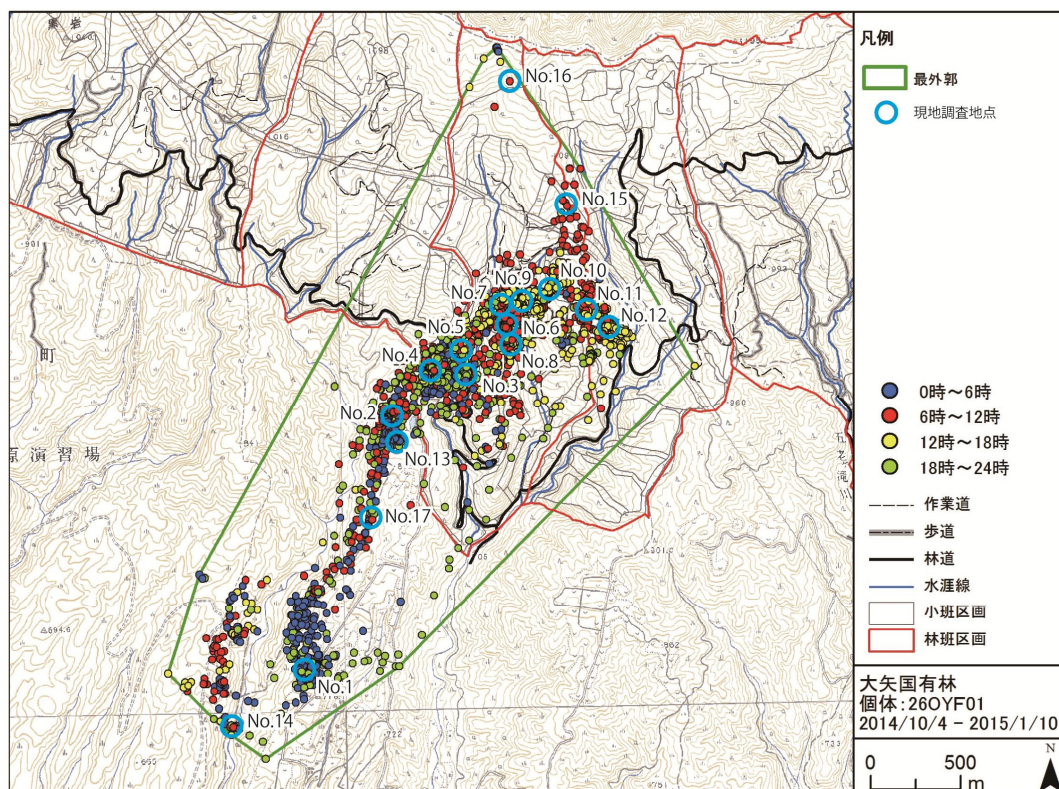


図 2-3-2-3 大矢国有林の調査地点（雌 260YF01 個体）

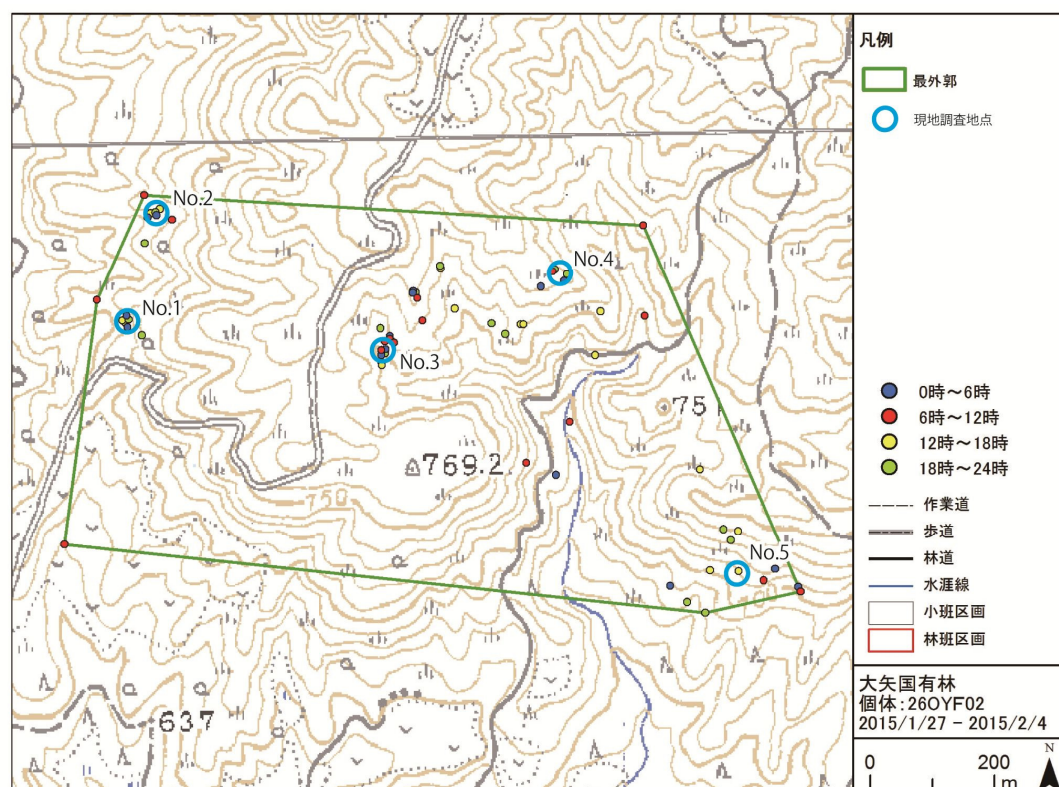


図 2-3-2-4 大矢国有林の調査地点（雌 260YF02 個体）

現地踏査の結果、餌場として抽出した地点を表 2-3-2-3 に示す。

表 2-3-2-3 餌場として抽出した地点の現況（大矢国有林）

| No. | 対象個体名   | 調査地<br>番号 | 森林の状況                 | 下層植生            | 傾斜<br>(度) | 標高<br>(m) | 抽出根拠            | フィールドサイン               |
|-----|---------|-----------|-----------------------|-----------------|-----------|-----------|-----------------|------------------------|
| 1   | 260YF01 | No. 1     | 牧草地                   | イネ科植物           | 5         | 729       | 餌場              | 糞粒、獣道、食害               |
| 2   |         | No. 2     | クヌギとアカマツの<br>混交林      | ススキ             | 25        | 832       | 餌場、移動経路         | 糞粒、足跡、獣道               |
| 3   |         | No. 4     | スギ林（常緑広葉樹<br>の低木が点在）  | なし（イノデが点<br>在）  | 10        | 859       | 餌場、休息場          | 寝床、樹皮剥ぎ、食害             |
| 4   |         | No. 5     | 落葉広葉樹林                | なし              | 13        | 890       | 餌場、休息場、<br>移動経路 | 糞粒、足跡、獣道、寝<br>床、角研ぎ、食害 |
| 5   |         | No. 6     | 落葉広葉樹林                | ススキが散在          | 10        | 930       | 餌場              | 糞粒、獣道、樹皮剥<br>ぎ、角研ぎ、根食い |
| 6   |         | No. 7     | ヒノキ林（常緑広葉<br>樹の低木が点在） | なし              | 25        | 938       | 餌場              | 獣道、樹皮剥ぎ、食害             |
| 7   |         | No. 8     | 落葉広葉樹林                | ススキが散在          | 5         | 935       | 餌場、移動経路         | 糞粒、獣道、樹皮剥<br>ぎ、根食い、食害  |
| 8   |         | No. 10    | 落葉広葉樹林                | ススキ             | 15        | 990       | 餌場、休息場          | 糞粒、獣道、寝床、樹<br>皮剥ぎ、食害   |
| 9   |         | No. 11    | 落葉広葉樹林                | なし              | 5         | 996       | 餌場              | 糞粒、樹皮剥ぎ、食害             |
| 10  |         | No. 12    | ヒノキ、落葉・常緑<br>広葉樹の混交林  | なし              | 25        | 965       | 餌場、移動経路         | 糞粒、食害                  |
| 11  |         | No. 13    | ススキ・ササ原               | ススキ、ササ類         | 5         | 847       | 餌場              | 食害                     |
| 12  |         | No. 14    | スギ林（常緑広葉樹<br>の低木が点在）  | なし（イノデが点<br>在）  | 13        | 651       | 餌場、水場           | 獣道、食害                  |
| 13  |         | No. 16    | 常緑広葉樹林                | ミヤコザサ           | 20        | 1168      | 餌場              | 足跡、食害                  |
| 14  | 260YF02 | No. 1     | スギ林                   | なし<br>(ベニシダが点在) | 25        | 742       | 餌場              | 足跡、獣道、樹皮剥<br>ぎ、根食い、食害  |
| 15  |         | No. 2     | 落葉広葉樹林                | ササ類             | 20        | 749       | 餌場、休息場          | 糞粒、足跡、獣道、寝<br>床、食害     |
| 16  |         | No. 3     | ススキ・ササ原               | ススキ、ササ類         | 8         | 765       | 餌場、休息場          | 獣道、樹皮剥ぎ、食害             |
| 17  |         | No. 4     | スギ林                   | スズタケが散在         | 18        | 805       | 餌場、移動経路         | 糞粒、食害                  |
| 18  |         | No. 5     | スギ林                   | なし              | 24        | 707       | 餌場              | 糞粒、樹皮剥ぎ、食害             |

餌場になっているのは落葉広葉樹林、スギ林、ススキ・ササ原、ヒノキ林、牧草地、クヌギとアカマツの混交林、落葉・常緑広葉樹の混交林、常緑広葉樹林であった。主な下層植生はススキ、スズタケ、ササ類、イネ科植物であった。確認地点の傾斜は平均 15.1 度で、標高は平均 861m であった。

フィールドサインは糞粒、足跡、獣道、寝床、樹皮剥ぎ、角研ぎ、根食い、食害が確認された。調査地点の環境を写真 2-3-2-11、写真 2-3-2-12 に、食害及び樹皮剥ぎの状況を写真 2-3-2-13～16 示す。



写真 2-3-2-11

雌 260YF01 個体の現地調査地点  
No. 1 餌場の環境



写真 2-3-2-12

雌 260YF02 個体の現地調査地点  
No. 2 餌場の環境



写真 2-3-2-13

雌 260YF01 個体の現地調査地点  
No. 1 食害（イネ科植物）



写真 2-3-2-14

雌 260YF02 個体の現地調査地点  
No. 2 食害（イヌガヤ）



写真 2-3-2-15

雌 260YF01 個体の現地調査地点  
No. 7 樹皮剥ぎ（ヒノキ）



写真 2-3-2-16

雌 260YF02 個体の現地調査地点  
No. 5 樹皮剥ぎ（スギ）

現地調査の結果、休息場として抽出した地点を表 2-3-2-4 に示す。

表 2-3-2-4 休息場として抽出した地点の現況（大矢国有林）

| No. | 対象個体名   | 調査地<br>番号 | 森林の状況                | 下層植生             | 傾斜<br>(度) | 標高<br>(m) | 抽出根拠            | フィールドサイン               |
|-----|---------|-----------|----------------------|------------------|-----------|-----------|-----------------|------------------------|
| 1   | 260YF01 | No. 3     | スギ林（常緑広葉樹<br>の低木が点在） | なし（シンガシラ<br>が点在） | 22        | 857       | 休息場、水場          | 足跡、獣道、寝床               |
| 2   |         | No. 4     | スギ林（常緑広葉樹<br>の低木が点在） | なし（イノデが点<br>在）   | 10        | 859       | 餌場、休息場          | 寝床、樹皮剥ぎ、食害             |
| 3   |         | No. 5     | 落葉広葉樹林               | なし               | 13        | 890       | 餌場、休息場、<br>移動経路 | 糞粒、足跡、獣道、寝<br>床、角研ぎ、食害 |
| 4   |         | No. 10    | 落葉広葉樹林               | ススキ              | 15        | 990       | 餌場、休息場          | 糞粒、獣道、寝床、樹<br>皮剥ぎ、食害   |
| 5   | 260YF02 | No. 2     | 落葉広葉樹林               | ササ類              | 20        | 749       | 餌場、休息場          | 糞粒、足跡、獣道、寝<br>床、食害     |
| 6   |         | No. 3     | ススキ・ササ原              | ススキ、ササ類          | 8         | 765       | 餌場、休息場          | 獣道、樹皮剥ぎ、食害             |

休息場になっているのは落葉広葉樹林、スギ林、ススキ・ササ原であった。下層植生はススキ、ササ類が確認された。確認地点の傾斜は平均 14.7 度で、標高は平均 852m であった。フィールドサインは糞粒、足跡、獣道、寝床、樹皮剥ぎ、角研ぎ、食害が確認された。確認された寝床を写真 2-3-2-17、写真 2-3-2-18 に示す。



写真 2-3-2-17

雌 260YF01 個体の現地調査地点  
No. 3 寝床



写真 2-3-2-18

雌 260YF02 個体の現地調査地点  
No. 2 寝床

現地調査の結果、移動経路として抽出した地点を表 2-3-2-5 に示す。

表 2-3-2-5 移動経路として抽出した地点の現況（大矢国有林）

| No. | 対象個体名   | 調査地<br>番号 | 森林の状況                    | 下層植生    | 傾斜<br>(度) | 標高<br>(m) | 抽出根拠            | フィールドサイン               |
|-----|---------|-----------|--------------------------|---------|-----------|-----------|-----------------|------------------------|
| 1   | 260YF01 | No. 2     | クヌギとアカマツの混<br>交林         | ススキ     | 25        | 832       | 餌場、移動経路         | 糞粒、足跡、獣道               |
| 2   |         | No. 5     | 落葉広葉樹林                   | なし      | 13        | 890       | 餌場、休息場、移<br>動経路 | 糞粒、足跡、獣道、寝<br>床、角研ぎ、食害 |
| 3   |         | No. 8     | 落葉広葉樹林                   | ススキが散在  | 5         | 935       | 餌場、移動経路         | 糞粒、獣道、樹皮剥<br>ぎ、根食い、食害  |
| 4   |         | No. 9     | ヒノキ林（落葉・常緑<br>広葉樹の低木が散在） | なし      | 26        | 967       | 移動経路            | 糞粒、獣道                  |
| 5   |         | No. 12    | ヒノキ、落葉・常緑広<br>葉樹の混交林     | なし      | 25        | 965       | 餌場、移動経路         | 糞粒、食害                  |
| 6   |         | No. 15    | ヒノキ林                     | なし      | 0         | 1041      | 移動経路            | 糞粒、足跡、獣道               |
| 7   |         | No. 17    | ヒノキ林                     | なし      | 8         | 790       | 移動経路            | 糞粒、樹皮剥ぎ、角研<br>ぎ、食害     |
| 8   | 260YF02 | No. 4     | スギ林                      | スズタケが散在 | 18        | 805       | 餌場、移動経路         | 糞粒、食害                  |

移動経路になっているのは落葉広葉樹林、クヌギとアカマツの混交林、ヒノキ林、ヒノキ・落葉・常緑広葉樹の混交林であった。下層植生はススキが確認された。確認地点の傾斜は平均 18.8 度で、標高は平均 917.8m であった。フィールドサインは糞粒、足跡、獣道、寝床、樹皮剥ぎ、根食い、食害が確認された。移動経路となっていた地形の多くは、緩傾斜の尾根部であった。また、移動経路として抽出した 8 地点のうち 4 地点は、林縁部もしくは林道であった。確認された獣道を写真 2-3-2-19、写真 2-3-2-20 に示す。



写真 2-3-2-19

雌 260YF01 個体の現地踏査地点  
No. 5 獣道



写真 2-3-2-20

雌 260YF01 個体の現地踏査地点  
No. 15 獣道

各個体の行動特性について以下に詳述する。

○雌 260YF01 個体

餌場は主に落葉広葉樹林で、スギ林、牧草地、ススキ・ササ原なども利用しており、傾斜の平均は 13.5 度であった。フィールドサインの状況からイヌツゲやササ類、ヒサカキを餌としているようであった。休息場は落葉広葉樹林およびスギ林で、傾斜は平均 15 度であった。移動経路として抽出した場所は、ヒノキ林やクヌギ・アカマツ混交林の林縁部および落葉広葉樹林内であった。

○雌 260YF02 個体

餌場は主にスギ林で、落葉広葉樹林、ススキ・ササ原も利用しており、傾斜の平均は 19 度であった。フィールドサインの状況からササ類、イヌガヤ、ヒサカキを餌としているようであった。休息場は落葉広葉樹林およびススキ・ササ原で、傾斜は平均 14 度であった。移動経路として抽出した場所は、スギ林の林縁部であった。

c 大洞国有林

GPS 首輪を装着した 2 個体を対象にして、現地調査地点の抽出を行った。抽出した全 20 地点を図 2-3-2-5、図 2-3-2-6 に示す。

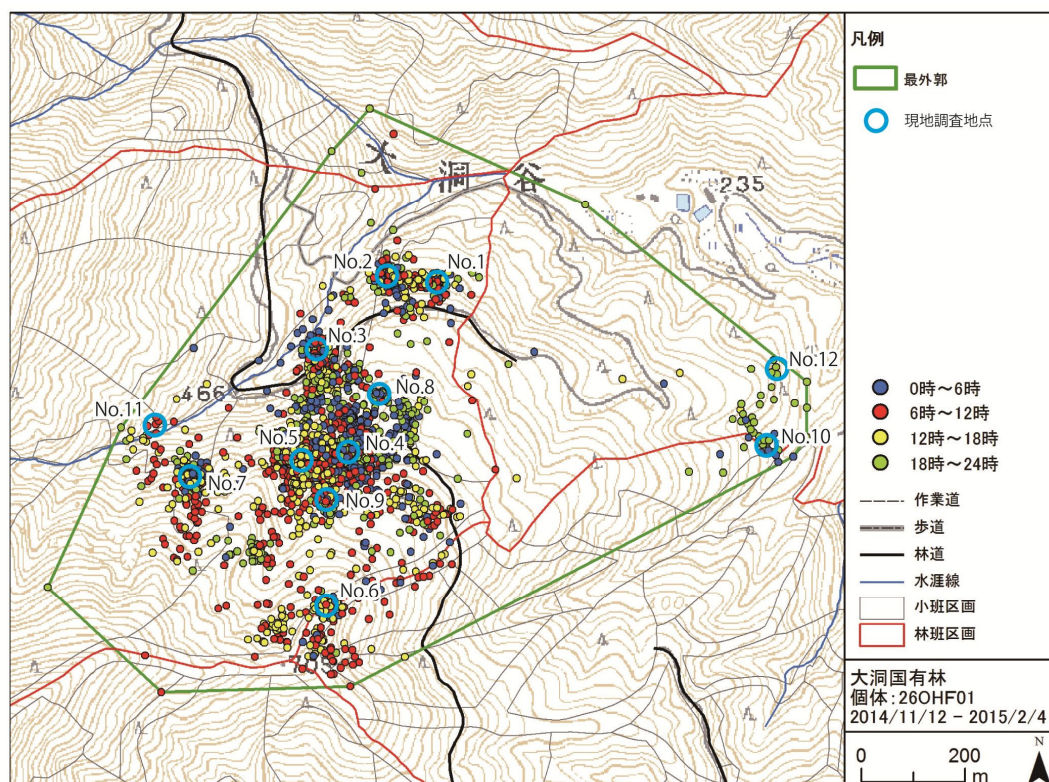


図 2-3-2-5 大洞国有林の調査地点 (雌 260HF01 個体)

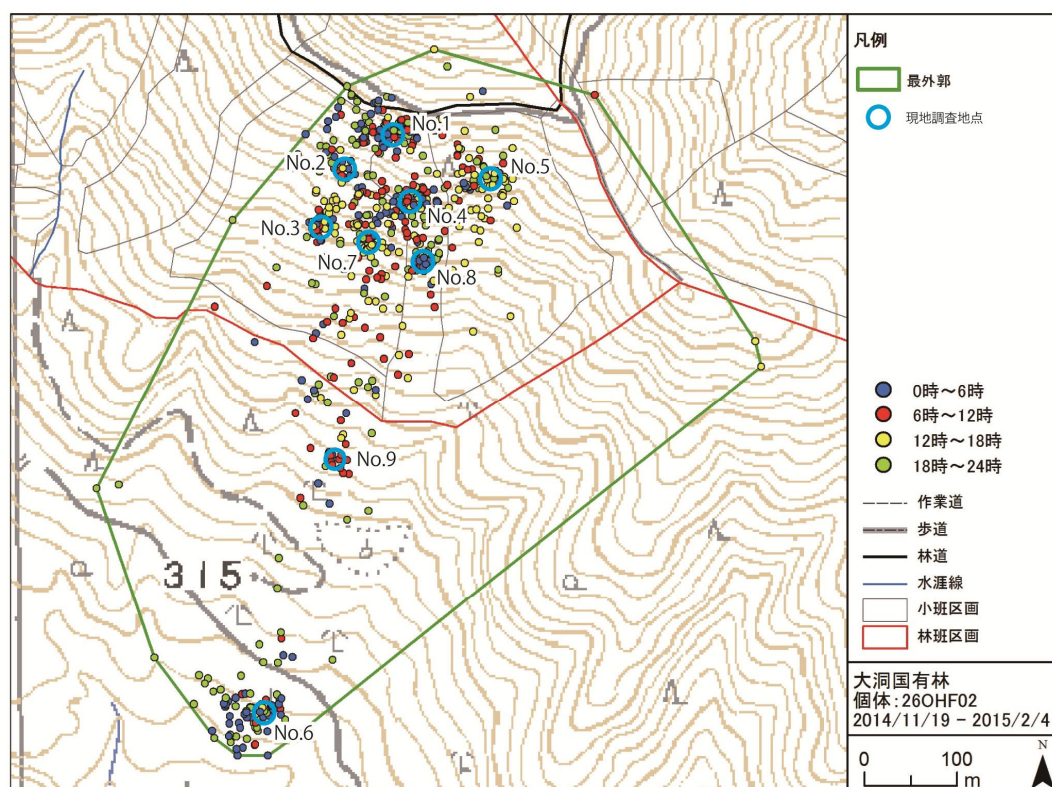


図 2-3-2-6 大洞国有林の調査地点 (雌 260HF02 個体)

現地踏査の結果、餌場として抽出した地点を表 2-3-2-6 に示す。

表 2-3-2-6 餌場として抽出した地点の現況（大洞国有林）

| No. | 対象個体名   | 調査地<br>番号 | 森林の状況                     | 下層植生                          | 傾斜<br>(度) | 標高<br>(m) | 抽出根拠    | フィールドサイン                 |
|-----|---------|-----------|---------------------------|-------------------------------|-----------|-----------|---------|--------------------------|
| 1   | 260HF01 | No. 1     | スギ林<br>(常緑広葉樹が点在)         | ミヤマノコギリシダ                     | 30        | 425       | 餌場      | 糞粒、足跡、獣道                 |
| 2   |         | No. 2     | スギ・ヒノキ林<br>(常緑広葉樹が散在)     | なし<br>(イワガネソウ、イズ<br>センリョウが点在) | 22        | 435       | 餌場      | 糞粒、足跡、獣<br>道、樹皮剥ぎ、食<br>害 |
| 3   |         | No. 6     | 常緑広葉樹林                    | なし                            | 0         | 686       | 餌場、移動経路 | 糞粒、獣道、樹皮<br>剥ぎ、食害        |
| 4   |         | No. 7     | 常緑広葉樹林                    | なし                            | 37        | 597       | 餌場、移動経路 | 糞粒、獣道、樹皮<br>剥ぎ           |
| 5   |         | No. 10    | スギとモウソウチクの<br>混交林         | シダ類が散在                        | 15        | 286       | 餌場、水場   | 獣道、食害                    |
| 6   |         | No. 12    | ヒノキ林                      | ナチシダ、ウラジロが<br>散在              | 10        | 262       | 餌場、移動経路 | 糞粒、獣道、樹皮<br>剥ぎ           |
| 7   | 260HF02 | No. 1     | ススキ原<br>(落葉・常緑広葉樹が<br>点在) | ススキ<br>(マンリョウが点在)             | 28        | 592       | 餌場      | 糞粒、獣道、樹皮<br>剥ぎ、食害        |
| 8   |         | No. 2     | ススキ原                      | ススキ<br>(マンリョウが点在)             | 25        | 557       | 餌場      | 糞粒、足跡、獣<br>道、食害          |
| 9   |         | No. 3     | 常緑広葉樹林                    | ユズリハ、マンリョ<br>ウ、ススキが散在         | 18        | 524       | 餌場      | 糞粒、獣道、樹皮<br>剥ぎ、角研ぎ       |
| 10  |         | No. 5     | 常緑広葉樹林                    | なし                            | 32        | 563       | 餌場      | 糞粒、獣道、樹皮<br>剥ぎ           |
| 11  |         | No. 6     | ススキ原                      | ススキ                           | 0         | 278       | 餌場      | 糞粒、獣道、樹皮<br>剥ぎ、食害        |
| 12  |         | No. 7     | 常緑広葉樹林                    | なし<br>(シキミ、ユズリハ等<br>が点在)      | 35        | 499       | 餌場、休息場  | 糞粒、足跡、獣<br>道、寝床、食害       |
| 13  |         | No. 8     | 常緑広葉樹林                    | シキミ、ユズリハ等が<br>散在              | 37        | 492       | 餌場、休息場  | 糞粒、足跡、獣道                 |
| 14  |         | No. 9     | モウソウチク林                   | なし                            | 30        | 379       | 餌場、移動経路 | 獣道                       |

餌場になっているのは常緑広葉樹林、ススキ原、スギ林、ヒノキ林、モウソウチク林などであった。主な下層植生はススキ、ユズリハ、ミヤマノコギリシダ、ナチシダ、ウラジロ、シキミなどであった。確認地点の傾斜は平均 22.8 度で、標高は平均 469.6m であった。

フィールドサインは糞粒、足跡、獣道、寝床、樹皮剥ぎ、角研ぎ、食害が確認された。調査地点の環境を写真 2-3-2-21、写真 2-3-2-22 に、食害及び樹皮剥ぎの状況を写真 2-3-2-23～26 示す。



写真 2-3-2-21

雌 260HF01 個体の現地調査地点  
No. 10 餌場の環境



写真 2-3-2-22

雌 260HF02 個体の現地調査地点  
No. 1 餌場の環境



写真 2-3-2-23

雌 260HF01 個体の現地調査地点  
No. 10 食害（スゲ属の一種）



写真 2-3-2-24

雌 260HF02 個体の現地調査地点  
No. 1 食害（ススキ）



写真 2-3-2-25

雌 260HF01 個体の現地調査地点  
No. 2 樹皮剥ぎ（スギ）



写真 2-3-2-26

雌 260HF02 個体の現地調査地点  
No. 5 樹皮剥ぎ（常緑広葉樹）

次に、現地調査の結果、休息場として抽出した地点を表 2-3-2-7 に示す。

表 2-3-2-7 休息場として抽出した地点の現況（大洞国有林）

| No. | 対象個体名   | 調査地<br>番号 | 森林の状況  | 下層植生                     | 傾斜<br>(度) | 標高<br>(m) | 抽出根拠   | フィールドサイン           |
|-----|---------|-----------|--------|--------------------------|-----------|-----------|--------|--------------------|
| 1   | 260HF01 | No. 8     | スギ林    | ユズリハ、シダ類が<br>散在          | 18        | 486       | 休息場    | 糞粒、足跡、寝床           |
| 2   | 260HF02 | No. 4     | 常緑広葉樹林 | なし                       | 25        | 558       | 休息場    | 糞粒、獣道、寝床           |
| 3   |         | No. 7     | 常緑広葉樹林 | なし<br>(シキミ、ユズリハ<br>等が点在) | 35        | 499       | 餌場、休息場 | 糞粒、足跡、獣道、<br>寝床、食害 |
| 4   |         | No. 8     | 常緑広葉樹林 | シキミ、ユズリハ等<br>が散在         | 37        | 492       | 餌場、休息場 | 糞粒、足跡、獣道           |

休息場になっているのは常緑広葉樹林、スギ林であった。下層植生はユズリハ、シキミなどが確認された。確認地点の傾斜は平均 28.8 度で、標高は平均 508.8m であった。フィールドサインは糞粒、足跡、獣道、寝床、食害が確認された。確認された寝床を写真 2-3-2-27、写真 2-3-2-28 に示す。



写真 2-3-2-27

雌 260HF01 個体の現地調査地点  
No. 8 寝床



写真 2-3-2-28

雌 260H02 個体の現地調査地点  
No. 4 寝床

現地調査の結果、移動経路として抽出した地点を表 2-3-2-8 に示す。

表 2-3-2-8 移動経路として抽出した地点の現況（大洞国有林）

| No. | 対象個体名   | 調査地<br>番号 | 森林の状況             | 下層植生           | 傾斜<br>(度) | 標高<br>(m) | 抽出根拠    | フィールドサイン      |
|-----|---------|-----------|-------------------|----------------|-----------|-----------|---------|---------------|
| 1   | 260HF01 | No. 4     | スギ林               | なし<br>(シダ類が点在) | 17        | 533       | 移動経路    | 糞粒、獣道         |
| 2   |         | No. 6     | 常緑広葉樹林            | なし             | 0         | 686       | 餌場、移動経路 | 糞粒、獣道、樹皮剥ぎ、食害 |
| 3   |         | No. 7     | 常緑広葉樹林            | なし             | 37        | 597       | 餌場、移動経路 | 糞粒、獣道、樹皮剥ぎ    |
| 4   |         | No. 9     | スギ林<br>(常緑広葉樹が点在) | なし             | 15        | 596       | 移動経路    | 足跡、獣道         |
| 5   |         | No. 11    | 常緑広葉樹林            | なし             | 35        | 502       | 移動経路、水場 | 糞粒、足跡、獣道      |
| 6   |         | No. 12    | ヒノキ林              | ナチシダ、ウラジロが散在   | 10        | 262       | 餌場、移動経路 | 糞粒、獣道、樹皮剥ぎ    |
| 7   | 260HF02 | No. 9     | モウソウチク林           | なし             | 30        | 379       | 餌場、移動経路 | 獣道            |

移動経路になっているのは常緑広葉樹林、スギ林、ヒノキ林、モウソウチク林であった。下層植生はナチシダ、ウラジロなどが確認された。確認地点の傾斜は平均 20.6 度で、標高は平均 507.9m であった。フィールドサインは糞粒、足跡、獣道、樹皮剥ぎ、食害が確認された。確認された獣道を写真 2-3-2-29、写真 2-3-2-30 に示す。



写真 2-3-2-29

雌 260HF01 個体の現地調査地点

No. 11 獣道



写真 2-3-2-30

雌 260HF01 個体の現地調査地点

No. 12 獣道

各個体の行動特性について以下に詳述する。

○雌 260HF01 個体

餌場は主に常緑広葉樹林やスギ・ヒノキ林で、スギとモウソウチクの混交林も利用しており、傾斜の平均は 19 度であった。休息場は傾斜 18 度のスギ林であった。移動経路として抽出した場所は、常緑広葉樹林およびスギ・ヒノキ林の林内であった。

○雌 260HF02 個体

餌場は主に常緑広葉樹林やススキ原で、モウソウチク林も利用しており、傾斜の平均は 25.6 度であった。フィールドサインの状況からススキを餌としているようであった。休息場は傾斜平均 32.3 度の常緑広葉樹林であった。移動経路として抽出した場所は、モウソウチク林内であった。

(4) 考察

a 祖母傾地域（祖母山地区）

2 個体の行動域の大部分がスギ・ヒノキ林であるが、林床にスズタケやイネ科植物が生育している箇所が多く、シカはこれらを主な餌資源として利用しながら生息していると考えられる。

b 大矢国有林

雌 260YF01 の主な餌場である落葉広葉樹林に下層植生はほとんど見られず、落葉を餌資源としている可能性がある。標高 729m の牧草地や標高 1168m のミヤコザサが生育する常緑広葉樹林への移動は、主な餌場に餌資源が不足していることを示唆していると考えられる。雌 260YF02 は、下層植生にササ類が生育する環境を利用しながら狭い範囲で生息していると考えられる。両個体で移動経路として林縁部を利用する傾向が見られた。

c 大洞国有林

餌場の下層で確認されたススキ以外の植生は、ミヤマノコギリシダ、ナチシダ、ウラジロ、ユズリハ、マンリョウなどのシカが忌避する植物であった。雌 260HF02 は、主にススキの新芽を採食していると考えられた。また、雌 260HF01 は標高 286 m の、雌 260HF02 は標高 379m のモウソウチク林への移動が見られたことから、山地での餌資源不足にともない、モウソウチク林でイノシシが掘り返し採食した筍の残渣を採食している可能性が考えられた。